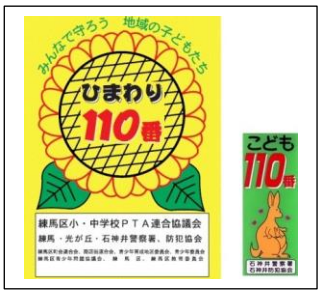
ＰＴＡ　JOURNAL　VOL4

ＰＴＡがなくなるとどうなるの？子どもたちへのデメリットは？

子どもたちの登下校の見守り、地域の方々の見守りがなくなります。
学校生活について保護者の皆様からの意見を取りまとめ、要望などを学校側に伝える場がなくなります。

防犯への取り組み



ひまわり１１０番の管理

ひまわり１１０番に協力して頂いている店舗・ご家庭の管理・あいさつ周りの調整はPTA 役員が行っています。
ひまわり 110 番とは、登下校中に危険なことがあったり、不安に感じたりしたら、児童が助けを求められる場所です。

パトロールカーの実施

各学期に 1 回は、PTA 役員が区のパトロールカーに乗り、児童への登下校中の注意喚起、地域の方々の見守りの協力をマイクで伝えています。

防災への取り組み

応急救護講習会の実施

避難拠点運営委員会 PTA 部では関町町会、避難拠点運営連絡会と合同で心肺停止の応急 処置、また、いつでも AED が使えるように、毎年講習会を行ってます。

防災勉強会の実施

なぜ学校に避難拠点が設置するのか。阪神・淡路大震災後、学校に避難者が溢れかえりました。その教訓をもとに、混乱なく学校生活を再開させるため練馬区で独自に定めたものです。
学校の建物が安全な場合に、「避難拠点要員」により開設され、「避難拠点運営連絡会」の協力を受けながら、この地域のみんなで拠点運営を行わなければいけません。そのための勉強会を PTA で企画・実施しています。

学校や保護者との連携

- 保護者顔合わせ
  5 月に、班別こども会が開催されます。班別こども会実施前に、体育館で各地区班ごとに保護者顔合わせが出来る機会を設定します。コロナ禍以降、保護者同士の会う場がグッと減っています。新一年生の保護者にとっては情報交換できるいい機会になっています。
- 保護者意見交換会
  保護者の皆様からの意見を PTA 役員で取りまとめます。ご意見は、保護者意見交換会への参加、PTA メールで募ります。
- 運営委員会
  保護者の皆様からの意見を、学校側に伝える場です。会議には、校長先生・副校長先生も参加されます。

PTA は、子どもたちが安全・安心、健やかな学校生活をすごせるように活動しています。
ニュースでは、南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくないと報道され、また違うニュースでは、無差別殺傷事件が報道されています。被災する前に協力しあえるネットワークを作り、日ごろから事件の巻き込まれない地域作りのために、保護者の皆様、地域の皆様のひとりひとりの協力が必要です。

今年度は、強制のない PTA 活動をしてまいりました。皆さんが思う安心・安全を作りませんか？
お子さまの在学期間中に、一度は役員としてのお手伝いをお願いいたします。